

# 深刻さを増す気候変動

## 👉 気候危機は甚大な被害をひきおこしています

- 豪雨・台風の頻発、激甚化による人命や人々の生活、地域産業への深刻な打撃
- 夏がより長く、より暑くなり、熱中症の死者が大幅に増加
- 農作物や漁業など、食料安全保障へ影響が深刻化
- 海水温が上昇し、サンゴが死滅 1.5°Cの上昇で  
9割が死ぬ可能性
- 海水面が上昇し、住む場所を失ったり、洪水や高潮の影響を受ける人が増加



2019年九州豪雨  
© Masaya Noda / Greenpeace



ブラジルの旱魃  
© Gabriel Lindoso / Greenpeace



サンゴの白化  
© Lion Yang / Greenpeace

地球温暖化は、  
**人間の活動が原因であることは「疑う余地がない」と**  
国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)は  
結論づけています。

## 👉 地球の気温上昇を1.5°Cに抑える必要あり 1.5°Cと2°Cで こんなに違う

2015年、「パリ協定」で、世界共通の目標として「(産業革命前からの) 気温上昇を2°Cより十分低く抑え1.5°C以下を目指す」と確認。  
しかし、世界の平均気温は産業革命前と比べて2020年時点で既に1.2°C程度上昇してしまいました(世界気象機関)。  
2021年に英・グラスゴーで開催されたCOP26で「1.5°C目標」を追求することに改めて合意しました。

日本をはじめ複数の国が2050年までのカーボンニュートラル(温室効果ガスの実質ゼロ排出)達成目標を表明するなど、取り組みは加速していますが、各国が国連に提出している現在の温室効果ガス削減目標のままでは、2100年までに世界の平均気温が約3°Cも上昇すると指摘されています。排出削減の取り組みを強化し、より早く進める必要があります。

	1.5°C	2.0°C	1.5°C vs 2.0°C
生物多様性の喪失	14%	18%	1.3倍
干ばつ被害	9.5億人	11.5億人	2億人増加
食の安全保障コスト <small>気候変動への適用にかかる費用と主要作物への被害</small>	7兆2487億円	9兆2047億円	約2兆円増加
火災 <small>地中海ヨーロッパにおける焼畑面積の増加</small>	40~54%	62~87%	1.6倍
極端な暑さ <small>1年を通じた最高温度35度以上の日数</small>	45~58日	52~68日	1.2倍
海面上昇	0.28~0.55m	0.33~0.61m	1.1倍
洪水 <small>洪水リスクに直面する人口の増加</small>	24%	30%	1.3倍
サンゴ礁の喪失	70~90%	99%	1.2倍

<https://www.wri.org/insights/ipcc-report-2022-climate-impacts-adaptation-vulnerability> よりグリーンピース作成